

大通

防災だより

第24号

平成30年11月4日(日)に実施の「第1回防災ウォーク・ラリー」のご報告!



今回、防災ウォーク・ラリーを実施するにあたり各自治会のご協力により13チーム（各チーム4～8名）の参加をいただきました。今回の参加者及びスタッフのアンケートを基に、今後多くの方々に防災を楽しく学んでいただけるような企画で実施していきたいと思っております。是非ともご参加下さいます様宜しくお願い致します。

主催：大通コミュニティ自主防災会
共催：大通コミュニティ協議会・総務スポーツ

『大通防災だより』の発行は
新潟市地域活動補助事業です



発行
大通地域生活センター内
大通コミュニティ自主防災会
TEL 025-362-1491

自主防災会 避難誘導・福祉班活動報告

避難誘導・福祉班の今年度の取り組みは「各自治会における『避難行動要支援者※』の把握と支援体制の確立を図る」です。そのために、

- ① 避難行動要支援者の把握と支援体制の確立、充実を各自治会に依頼する。
- ② 各自治会の「避難行動要支援者の把握」と「災害時の支援体制」の現状についてのアンケートを取り、現状を把握する。

以上の2つを目標に、次のように実施しました。

- ①につきましては、7月21日(土)のコミ協理事会で、班長が各自治会長に依頼しました。
- ②につきましては、7月にアンケートを依頼し、12月までに各自治会から報告を受けました。アンケートの結果のまとめは次の通りです。

- 1 災害時の連絡網はありますか？ → Yes 100%
- 2 (1)避難行動要支援者について把握していますか？ → Yes 100%
(2)把握している人は？ → 自治会長は100%把握
(自治会によっては役員、班長、近所の方なども把握している)
- 3 (1)自治会での避難行動要支援者への支援体制は確立していますか？
→ Yes 58%
(2)質問3-(1)のアンケートでYesと回答した自治会のうち
 - ①支援する方法は？(複数回答可) ・会長、班長、近所の方 57%
・役員 29%
 - ②支援の内容は？(複数回答可) ・災害時等での声かけ 57%
・避難時の誘導・介助 71%
・決まっていない 29%
 - ③避難訓練時に避難行動要支援者の避難訓練を行っていますか？
→ Yes 27%

上記のアンケート結果からわかったことをまとめると次の通りです。

- 全自治会が災害時の連絡網をもっています
- 全自治会が避難行動要支援者を把握しています。(自治会によってこの情報について知っている範囲がちがいますが…)
- 自治会での避難行動要支援者への支援体制の確立している自治会は58%に過ぎません。さらに、確立していると回答した自治会についても「体制はあるが確立というレベルではない」「周知徹底されているかは疑問」という返事もあり、自信をもって支援体制が確立しているという自治会は半分にも満たないのが現状です。
- 避難行動要支援者に対して、自治会での支援体制にそった避難訓練を行っている自治会は27%に過ぎません。

このアンケート結果をもとに、避難誘導・福祉班では今年度中に班会議を開催し、今年度の取り組みについてまとめていきたいと考えています。

避難誘導・福祉班班員

班長 江川 峰雄(大通南1-2)
 北川 浩幸(大通南1-2) 種村 博(大通南1-2)
 清水 郷平(黄金北) 五十嵐 誠(黄金北) 三本 和広(黄金北)

※避難行動要支援者とは、本市では【75歳以上のみの世帯の高齢者】【要介護認定3以上の者】【身体障害者手帳1・2級の所持者】【療育手帳Aの所持者】【災害時要援護者名簿(旧制度)の登載者】【自ら避難することが困難で、避難の支援を希望する者】の要件に該当する方。その他で支援希望者への対応は各自治会に委ねる。

自主防災会 防犯・安全班活動報告

平成30年12月23日(日)実施

防犯・安全班は、水害に於いて雨水・汚水の逆流によりマンホールの蓋が外れ避難時に避難者が落下しケガなどした事例もあり、今回避難所までの経路の災害時危険箇所(避難経路上にあるマンホール等)を地図に記載する為、大通1・大通2・大通西・大通南1-1・大通南1-2・大通南2-1・大通南2-2・大通南3・大通南4・黄金北・黄金南第1・黄金南第2を歩き、雨水・汚水のマンホール箇所付きの地図を作成しました。

各自治会別の地図を皆様に配布致します。自治会の防災訓練等にご活用ください。改めてご家庭で危険個所の確認をお願い致します。

防犯・安全班班員

- 班長 松原 正広(大通南2-2)
- 渡辺 孝見(大通南2-2)
- 山際 敦志(大通南2-2)
- 高橋 利勝(黄金南1)
- 長崎 竜也(黄金南1)



作業写真

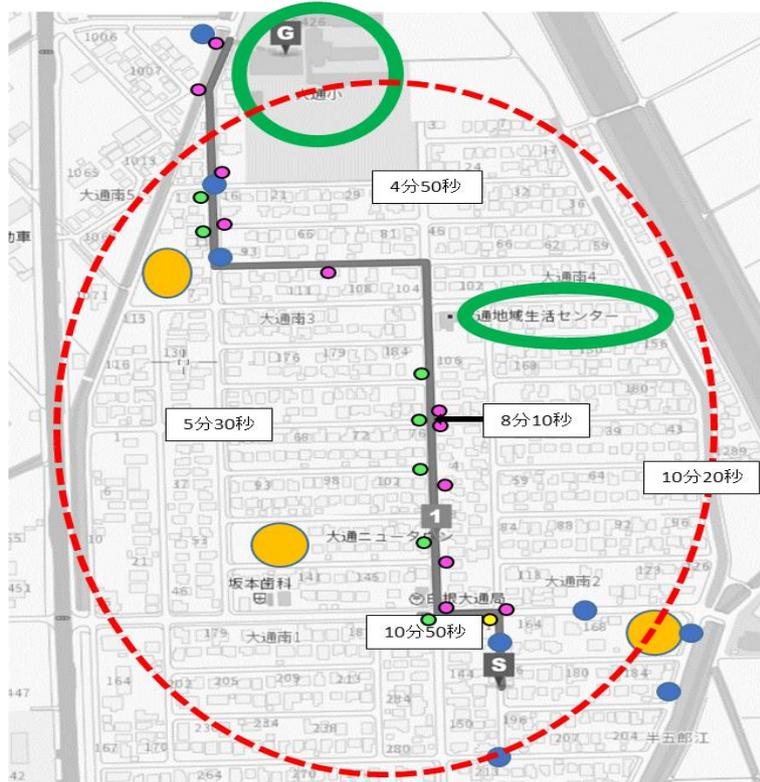
平成31年4月中に、下記のような地図を各自治会へ配布致します。

【見本】

自然災害に備えましょう

地震、台風、集中豪雨といった自然災害はいつ起こるか分かりません。いざという時のために避難所までの経路や所要時間、そして道中の危険箇所を確認しておきましょう。

大通南2-2自治会内から避難所までの経路/所要時間と災害時危険箇所



大通小学校まで
距離 900m
所用時間 14分

※ 歩行調査による主要箇所からの所要時間は地図内に記載

- 避難所
- 一次避難場所
- 豪雨時の冠水や地震時の液状化に注意
- 水が溜まりやすい場所
- マンホール(汚水)避難時に注意必要
- マンホール(雨水)避難時に注意必要
- マンホール(不明)避難時に注意必要

自主防災会 消火班活動報告

平成30年6月3日(日)に防災倉庫の備品点検を実施
防災備品点検作業の状況報告

- * 防災倉庫から備品を全数取り出し倉庫内清掃
- * 数量、品名が消えているものは書き直し
- * 各備品の点検作業
- * 故障品、不良品などを確認し買い換えの要請
- * 乾電池が使用できるかの確認
- * 備品倉庫を使用しやすいように整理整頓



大通地域生活センター玄関右側防災倉庫内

消火班班員

班長 櫻井 行男(黄金北)

大石 弘(大通西)

椎谷 隆信(大通南3)

田村 幸喜(黄金南第2)

渡辺 嘉子(大通西)

西村 幸典(大通南3)

渡邊 真龍(大通南3)

山田 正晴(黄金南第2)

班長 櫻井の所感

昨年度の防災班の備品写真を参考に出来た為作業しやすかったです。

初めて自主防災作業(消火班)に参加し、防災備品点検数の多さに驚きました。

防災に関する知識が全くないことを感じました。これを機会に家庭内でも、防災について考えていこうと思いました。



大通コミュニティ自主防災会は、大通地域の自然災害に備えて活動しています。自主防災会会長渡辺 清(大通南2-2)、各自治会より選出された3名の自主防災会員が●情報班●消火班●救援・救護班●避難誘導・福祉班●給食・給水班●防犯・安全班として活動しています。

また、総務班(コミ協役員・自主防災会会長)並びに相談役(松本【大通南1-2】・栗野【黄金南第2】)、大通地域の防災士の方々のご協力をいただいております。

今後も大通地域の皆様と共に、安全対策に取り組んでいきたいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。



平成30年度自主防災会会長・情報班班長
情報班広報担当

渡辺 清 (大通南2-2)
佐藤 和子 (大通南1-1)
佐藤 秀男 (大通西)
小林 慎一 (黄金南第2)